

図書館だより 10月号

2021年10月1日発行

大田区立志茂田中学校図書館 読書学習司書



10月1日より通常開館となります！

学校図書館は、10月1日より開館日、開館時間を通常に戻します。開館日は、月・火・木・金、開館時間は、昼休みと放課後5時まで。全学年が利用できます。

また、引き続き手洗い、マスクの着用、ソーシャルディスタンスなどの感染症対策を徹底していきます。

朝夕涼しくなり、秋の気配を感じる季節になりました。読書の秋を思いっきり満喫してください。

10月の学校図書館



月	火	水	木	金
				10月1日 開館
10月4日 開館	10月5日 開館	10月6日 休館	10月7日 開館	10月8日 開館
10月11日 開館	10月12日 開館	10月13日 休館	10月14日 開館	10月15日 開館
10月18日 開館	10月19日 開館	10月20日 休館	10月21日 開館	10月22日 開館
10月25日 開館	10月26日 開館	10月27日 休館	10月28日 開館	10月29日 開館

<開館日>

月・火・木・金

(水曜は休館)

<開館時間>

昼休みと放課後17時まで。

<貸出冊数と期間>

1人3冊まで、2週間貸出。

長期休み前特別貸出は

1人5冊まで。

読書週間イベント準備中！

10月27日から11月9日は「読書週間」です。

「読書週間」は1947年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているころ、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」という決意のもと定められ、その後、全国に広がりました。

学校図書館では、読書週間に合わせて後期学芸委員のおすすめ本とポップを展示します。

また、「本でビンゴ」等のイベントも企画中です。

「読書週間」はぜひ学校図書館へ来てくださいね！



10月の
お話給食

「お話給食」とは、物語に出てくる料理を食べながら、本の世界を楽しむ給食です。今月は、10月26日（火）です。

紹介する本 ごんだいなごん : 『権大納言とおどるきのこ』

給食のメニュー : 「魚ときのこの黄金焼き」

『今昔物語絵本 ごんだいなごん 権大納言とおどるきのこ』

ほりかわりまこ / 作・絵 偕成社

今は昔、京の都に、食いしん坊で有名な権大納言がいました。食いしん坊な上に、とてもこわがりなので、そのことを友だちの陰陽師にいつも笑われていました。権大納言はいつもすましている陰陽師を見返してやりたいと思っていたところ、山で不思議なきのこを手に入れ・・・



裏面も見てね。

秋の夜長にミステリー小説はいかが？



『容疑者 X の献身』 東野 圭吾／著 文春文庫（分類 913）

天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘と暮らす隣人の花岡靖子に秘かな想いを寄せていた。ある日、金を無心し、暴力をふるう靖子の前夫を彼女達は殺してしまう。状況を知った石神は、二人を救う為に完全犯罪を企てる。しかし、皮肉にも石神と大学の同期であり、親友である物理学者の湯川学がその謎に挑むことになる。映画化された、直木賞受賞作。

『そして誰もいなくなった』 アガサ・クリスティー／著

青木久恵／訳 ハヤカワ・ミステリ文庫（分類 933）

その孤島に招かれたのは、互いに面識もない、十人の男女だった。だが、島に招待主の姿はなく、やがて夕食の席で、彼らの過去の犯罪を暴く謎の声が・・・そして無気味な童謡の歌詞通りに、彼らが一人ずつ殺されていく。「ミステリーの女王」と呼ばれたアガサ・クリスティーの代表作。



『十角館の殺人』 綾辻 行人／著 講談社（分類 913）

十角形の奇妙な館が建つ孤島・角島を大学ミステリー研の7人が訪れた。館を建てた建築家・中村青司は、半年前に炎上した青屋敷で焼死したという。やがて学生たちを襲う連続殺人。メンバーが一人、また一人、殺されていく。1987年の刊行以来、30年以上たった今も多くの読者を引きつける名作。



『黒猫／モルグ街の殺人』 エドガー・アラン・ポー／著

小川高義／訳 光文社文庫（分類：933）

妻を殺し、壁に埋め込んだ夫。完全犯罪で終わるはずだったが・・・物語の結末で、映像的恐怖を描き出した「黒猫」。その他、ポーの魅力を堪能できる作品を収めた短編集。



『江戸川乱歩全集』 江戸川乱歩／著 光文社文庫（分類 913）

推理小説を得意とし、大正から昭和にかけて活躍した乱歩の作品ほとんどを収録。各作品の後にある乱歩自身の解説が興味深い。ペンネームである「江戸川乱歩」は、小説家の、エドガー・アラン・ポーに由来する。（全 30 巻）



『シャーロック＝ホームズ全集』 コナン・ドイル／著

各務三郎／訳 偕成社（分類 933）

名探偵シャーロック・ホームズと、友人で物語の書き手のワトソンの織り成す推理小説。捜査に行き詰まった警察に助けを求められたホームズが、警察の見過ごした証拠を発見し推理を働かせて事件の謎を解いていく。（全 14 巻）